

「絆」を深める

—相手を思いやり、尊重し合って、仲間との絆を深める学習プログラム—

学校名（ 東広島市立高美が丘中学校 ）

1 学 年 第2学年

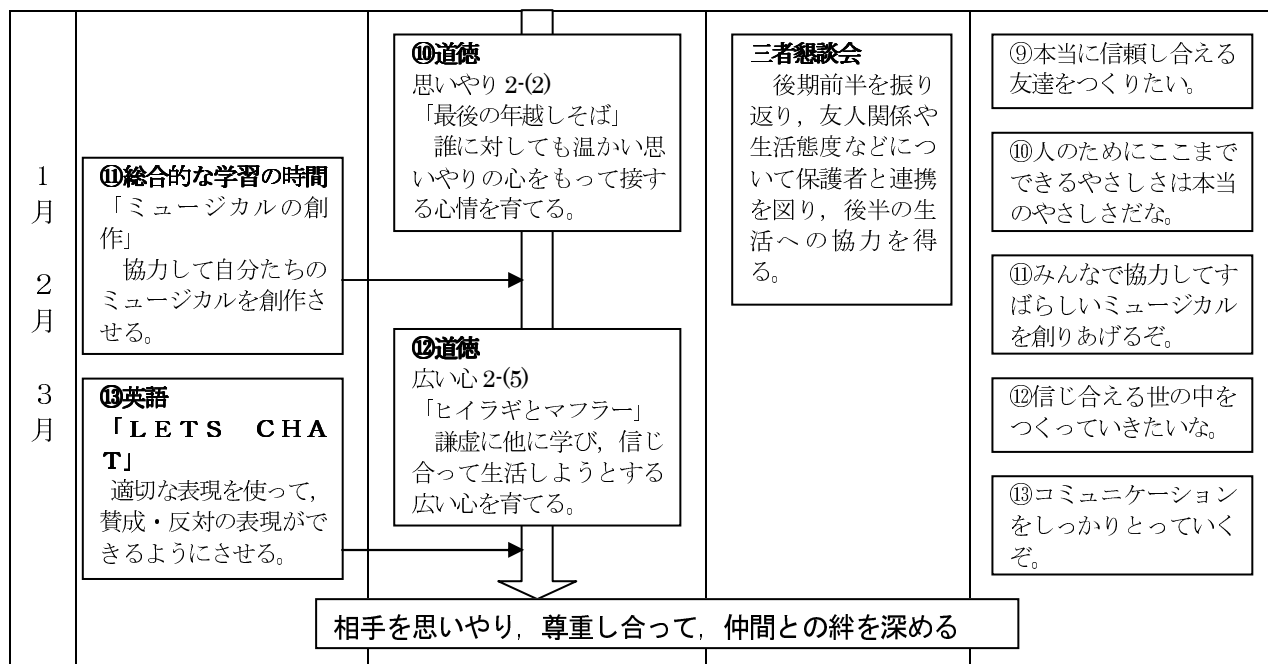
2 期 間 9月～3月

3 期待する児童生徒の姿

・相手を思いやり、尊重し合って、仲間との絆を深める。

4 構想図

時期	教科・特別活動 総合的な学習の時間	道徳の時間	常時活動 家庭との連携	児童生徒の意識の流れ
9月	<p>①学活 「運動会に向けて」 運動会での集団演技への取り組みを通して、身体表現の完成度を高める。</p>	<p>②道徳 思いやり 2-(2) 「軽いやさしさ」 筆者や若者が老婦人の店を訪れ店番をする気持ちを考えることを通して、思いやりの心情を育てる。</p>	<p>HR（帰りの会） 「スピーチ」 新聞記事から感じたことをスピーチする活動を通して、聞き合う力をつけ、お互いを理解しようとする気持ちを育てる。</p>	<p>①運動会での集団行動を成功させるぞ。</p>
10月	<p>③音楽「合唱の喜び」 豊かな響きと美しいハーモニーを味わい、友達と協力し合って、一つのものを創り上げる喜びを感じ取らせる。</p>	<p>④道徳 友情 2-(3) 「千五百メートル走」 心から人を大切に思い、自然にかかわることで、お互いが真の友人になれることに気づかせる。</p>	<p>HR（帰りの会） 「合唱練習」 合唱祭の歌練習を通して、協力し合うことを学ばせる。</p>	<p>②困ったとき自然に手を差し伸べられるやさしさを持ちたい。</p>
11月	<p>⑤学活 「文化祭に向けて」 協力して、一つのことを成し遂げようとする意欲と態度を育てる。</p>	<p>⑥道徳 広い心 2-(5) 「和太鼓への思い」 自分と異なる考え方、生き方を理解し、謙虚に他に学んで自己を高めようとする態度を養う。</p>	<p>三者懇談会 前期を振り返り、友人関係や生活態度などについて保護者と連携を図り、後期の生活への協力を得る。</p>	<p>③みんなで協力して美しいハーモニーを創り上げるぞ。</p>
	<p>⑦総合的な学習の時間 「ミュージカルへの参加」 3年生のミュージカルに合唱隊として参加するとともに、自分たちのミュージカルの台本づくりを始め、次年度への意欲と態度を養う。</p>	<p>⑧道徳 弱い心の克服と温かい心 3-(3) 「ライバル」 弱い心に打ち克ち、温かい心をもってお互いの向上を目指そうとする心情を育てる。</p>	<p>学年通信 行事や公開研究会などの参加を呼びかけ、家庭の理解と協力を得る。</p>	<p>④友達を見かけで判断するのではなく、その人のよさを知って本当の友達をつくりたい。</p>
12月	<p>⑨国語「走れメロス」 友情や信頼について話し合い、考えさせる。</p>			<p>⑤モニュメントや合唱でクラスの団結を深めるぞ。</p>
				<p>⑥相手を理解しようとする気持ちが大切だな。</p>
				<p>⑦3年生のミュージカルから学んだことを来年度へ生かすぞ。いよいよ私たちのミュージカルがスタートするぞ。</p>
				<p>⑧温かい心で接してお互いを伸ばす友人関係を大切にしていきたい。</p>



5 授業展開例～道徳⑧

(1) 主題名 弱い心の克服と温かな心[内容項目 3-(3) 人間として生きる喜び]

関連項目 2-(2) 思いやり 2-(3) 友情

(2) わらい 宿命のライバル、啓介と康夫のそれぞれの葛藤を通して、弱い心に打ち克ち、温かい心をもってお互いの向上を目指そうとする心情を育てる。

(3) 資料名 「ライバル」<出典：「道しるべ2」 正進社 p.18-21>

「KKコンビの25年目の真実」<You Tube>

(4) 授業の展開例

段階	学習活動	主な発問と生徒の心の動き	指導上の留意点及び支援の観点
導入	<p>1 心の耕しと課題の設定</p> <p>○北京オリンピックから、学習への関心をもつ。</p> <p>○資料を提示する。(場面ごとに)</p> <p>○資料を聞き、内容を理解する。</p>	<p>【発問】</p> <p>「北京オリンピックでのライバル関係にある選手をあげてみよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 水泳における北島康介選手とハンセン選手。 柔道における谷本歩実選手とドコス選手。 <p>【発問】</p> <p>「ライバルとはどんな存在だろうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 互いに競い合い、高め合う存在。 負けたくない存在。 	<p>*明るい雰囲気を作り、学習意欲を盛り上げる。</p> <p>*過去の体験を想起させる。</p> <p>*道徳性を把握する。</p> <p>*場面ごとに資料提示し、ポイントを示す。</p>
	<p>2 道徳的価値の類型化</p> <p>○啓介の気持ちの葛藤をつかむ。</p>	<p>【発問】</p> <p>「康夫の病気を知ったときの啓介の気持ちはどのようなものだっただろうか。」</p>	<p>*場面ごとに、啓介の心の葛藤と変容を明らか</p>

<p>展開前段</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・康夫の病気により、自分が有利になったことを喜ぶ気持ち。 ・康夫を心配する気持ち。 <p>【発問】 「『ひとつの声』とは何だろうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他人の不幸を喜ぶ自分でいいのか。 <p>【発問】 「なぜ病院へ康夫の見舞いに行くことをためらったのだろう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・康夫の不幸を喜ぶ気持ちが嫌だったから。 ・自分が有利になったので、康夫に何と声をかけてよいかわからなかったから。 ・父に行けと言われたから、仕方がない。 <p>【発問】 「啓介はどんな気持ちで病院へ向かったのだろうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やっぱり康夫が心配だ。 ・康夫を励ましたい。 ・他人の不幸を喜ぶ自分でいたくない。 	<p>にしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「康夫に勝てない状況 → 弱い心 → 自己嫌悪 → 温かい心」という変化をつかませる。根拠をもって意見を言わせる。 * 場面ごとの啓介の気持ちを理由とともに考え、判断し、表現させる。
<p>展開後段</p>	<p>3 道徳的価値の追究</p> <ul style="list-style-type: none"> ○康夫の心情を考え、役割演技（啓介と康夫）を通して表現する。（ペア→全体） ○役割演技の内容について、クラス全体で話し合い、人としてのあるべき姿をつかむ。 ○資料の「転」の後半と「結」の部分を提示する。 	<p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 「啓介が見舞いに行ったとき、康夫はどのように感じどんな態度をとるだろうか。」 ① 嫉妬し、冷たい態度をとる。（自分の病気を喜んでいるだろう。）（くやしい。一泳げないから。優勝できないから。） ② 嫉妬し、冷たい態度をとるが、その後、自分の態度を反省する。（冷たい態度をとって悪かった。）（啓介が悪いわけではないのに、啓介にあたる自分が情けない） ③ 啓介を応援する。（啓介には自分の分まで頑張ってもらいたい。） 	<ul style="list-style-type: none"> * 道徳的思考を深める。 * 役割取得 * 康夫の視点から考えさせる。 * 康夫の気持ちを理由とともに考え、表現させる。） * 康夫を自分のこととしてとらえ、啓介が見舞ったときの態度を判断させる。 * ①については、「このままでよいか。」「どうすべきか」という補助発問でねらいに導く。また、人間のもつ弱さを見つめさせる。
	<p>4 価値の一般化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の生活を振り返り、そのときの思いを発表する。 	<p>【発問】 「これまでの体験の中で、啓介の体験と似たようなことはなかったか、その時どう思ったか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブのレギュラーになれなかったとき、なれた人を嫉妬した。その後、そんな自分を嫌に思った。 ・友人よりテストの点数が低かったとき、悔しかった。点数の高い人に嫉妬した。他人に嫉妬すればするほど自分が惨めに思えた。 	<ul style="list-style-type: none"> * 道徳的価値の内面的自覚を図る。

<p>終末</p>	<p>5まとめ ○VTRを視聴し、弱い心に打ち克ち、温かい心をもつことへの心情を豊かにする。</p>	<p>【発問】 「清原と桑田の場合をVTRで見よう」 ・桑田を悪く言わなかった清原は立派だ。 ・もっと自分のことを悪く言っていると清原に言った桑田も相手を思いやっている。 ・お互いが良きライバルになっているから、伸びた。</p>	<p>* 道徳的心情を豊かにする。</p>
-----------	---	---	-----------------------